

続・続・二上山に咲く花々 14

## ハリエンジュ (針槐) 別名ニセアカシア

マメ科ハリエンジュ属  
(ネムノキ科説も)

写真・文 松尾忠

二上山の大阪側登山口・万葉の森周辺に4～5月頃、高い樹全体に白い蝶型の花を房状に沢山ぶら下げます。北米原産ですが、明治時代に日本に導入され、全

国各地で街路樹として盛んに植えられ、アカシアの名で親しまれてきました。

### 歌でも俳句でも

北原白秋作詞・山田耕筰作曲の唱歌「この道」や、近くは西田佐知子の「アカシアの雨がやむとき」で歌われたのも、実はこのニセアカシアなのです。

俳句では夏の季語ですが、明治書院刊「新撰俳句歳時記・夏編」で「一般にアカシアと呼んでいるが、『針槐(ハリエンジュ)』『にせあかしあ』が正しい名」と説明し、例句に「花咲きて偽アカシアの名の悲し」(渋沢洪亭)を挙げています。

### 人間にとって有用な木

「ハリエンジュ」とか「ニセアカシア」とか、名は紛らわしいのですが、この木は人間にとっては極めて有用で様々に活用されてきました。

### 枕木や緑化促進にも

まず材は重く、強度も耐久性も高いので、かつては線路の枕木、木釘、船材、スキー板など、また木炭、薪にも使われたそうです。

また、成長が早く、やせた土地でもよく育つので、緑化や治山、砂防などに使われていました。二上山・竹ノ内峠付近でも旧国道や林道の周辺に集中していることから、道路開設後の荒れ地の緑化促進で使われたのではないかと思います。

### ハチミツにも酒にも食べ物にも

花の蜜は良質でアカシア蜂蜜として重用されていますし、花を漬けたアカシア酒もあるそうです。また花房そのものは炒めもの、和えものとして食べられるとの事。一度試されてはどうでしょうか。

### 強い繁殖力が環境問題に

このように人間社会に多彩な貢献をしてきたハリエンジュですが、その繁殖力の強さが「環境破壊」





につながるとして、  
問題視されています。

もともと北米原産  
の木を世界各地に持  
ち込み、役立つから  
と言って散々活用し  
てきたのは人間なの  
で、いまさら「侵略  
的外来植」として排  
除の対象にされるの  
は、気の毒というし  
かありません。

ニセアカシアとい  
う種名も可哀そうで  
すよね。



↑北岳から間の岳へ3000m 天空の縦走路です。(記事とは関係ありません)

続・続・二上山に咲く花々 15 **カナメモチ (要藪)** 別名アカメモチ

バラ科カナメモチ属

写真・文 松尾忠

奈良県側當麻の登山口にある  
當麻大池の山側の周囲の生垣と  
しても植えられています。

春の若芽が光沢ある真紅で美  
しく、その陰に咲く花を見過ごし  
がちですが、パッチリと開く小さ  
い白い花の集まりも見ごたえが  
あります。花期は5～6月。

秋になる実も赤くてよく目立  
ちます。

材質が固く、扇の要に使われ、  
一方葉はモチノキに似るのでこ  
の名前に。



**二上山雄岳近くでギンリョウソウの群落**

6月、二上山雄岳の近くでギンリョウソウに出会  
いました。二上山では今年初めてです。

付近一帯に大小の塊がいくつもありましたから、  
群落と言えるでしょう。「来年以後も顔を見せて  
な」と呼びかけながらシャッターを切りました。

菌類に依存して光合成をやめた植物です。進化  
によるものとは言え、不思議ですね。